サマリアMCP・Agentがもたらす特許業務の構造変革



作業実行（検索・読解・整理）

作業実行から戦略判断への移行：
検索や読解の手間を軽減し、調査観点の設計や法的戦略判断に注力。



戦略判断（観点設計・仮説検証）

3つの実行モード

サマリアMCP

主な操作環境・接続：外部AI画面（Claude, ChatGPT等）
指示数の消費　消費なし（呼び出し無制限）
最適なワークロード：対話的探索・社内データとの横合分析

約20分での初期調査完了：1.2億件超の特許DBと対話しながら検索式を即座に調整・評価。

サマリアAgent（β版）

主な操作環境・接続：サマリア標準Web画面（内蔵）
指示数の消費　消費あり（自律ステップ応分）
最適なワークロード：外部接続不可環境・原図確認を伴う拒絶整理

拒絶対応の一気通貫化：日米包袋情報の取得から公報原図の提示・分割繊集まで一貫処理。

サマリア本体

主な操作環境・接続：サマリア各専用ツール画面
指示数の消費　消費あり（通常モードで節減可）
最適なワークロード：大量一括処理・網羅的スクリーニング・定期監視

実務導入とガバナンスの最適化

月額約1,813円/人
メンバー管理ホとMCPの分離設計により1人あたり月額約1,813円まで抑える。



未確認事項の分離による品質管理
AIの「未確認点」表示と「調査の経過」ログでエラー連鎖を防止。



弁理士法75条に配慮した運用
AI出力をたたき台とし、最終的な法的判断や手続きは弁理士の監督下で実施。

Gemini Notebook